

々れを攻入たる者共と矢庭を悉く打倒し行長諸將と等
 く城と出て圍戦しる小朋將一負忽ち鉄炮の中つて死
 けしは是を見て明軍一度は咄と大崩れしかの逃去す切
 所は行掛りてハ崖より落ち或ハ深田泥多の中は追
 り死傷夥し又一負の朋將殘率僅く漸く命を免れ
 逃げ延びたり日本勢明軍と初めての幸合く免頭御面
 かのの塊と著金龍白象等の馬面と掛け軍粧甚小異開
 甲冑旗旌あつてと曜り々れハ明東の群馬見なれざる
 ゆゑもや左右を割りて後居込りるを見て和軍具と立
 関と化す諸勢一度はさきさき掛りたるゆゑ明軍も無く

敗北し諸將明軍より幸甚と見せ長追せば軽く軍勢を引
 入せしむ

朝鮮同七月遼東の副総兵祖承訓兵五千を率ひ來り援ふ
 と先き觸れ至りぬ宣沙浦の僉使張佑成ハ大定江の浮橋
 を造り老江の僉使陳継仲と晴川江の浮橋を造り明兵と
 渡さむと支度ハ柳成龍も前むが安州よりゆくこれ比倭軍
 は平壤より是と先久く出で居たりハ巡察使李元翼ハ兵
 使李賞と共に順安に駐り都元帥金命元ハ肅州に居り
 斯て祖承訓義州に至り遊撃史儒其軍を以て先鋒とて裨
 承訓と乃遼尤の勇將とて度々北虜と戦ひて軍功あつた

八を謂らく此の日の日本勢も必討取るべしと嘉山子
 至りし時朝鮮の入り向ひくるは平壤の日本勢もや走
 るなるもの其者對て未退るべしと云ふ祖承訓酒を擧げ天
 を仰ぎ祝しと云く敵猶彼に在り必は天帝我をして大功
 を成さしむる也と喜びけり是日順安より夜の三更に軍
 を發し進むる平壤を攻たりと折る大兩ふる城上小
 敵の守兵もたつたやいは明兵七星門より攻入り城内
 此路狭く委巷多く馬足も展びがたし日本勢は險
 阨に依りて鳥銃と乱發さるれば遊撃史儒丸の中より即ち
 斃せらるる其外人馬多く死に祖承訓も遂に軍を退けらる

敵も急を追ざるとく後軍の暇兵ハ泥濘の中小陷りて自
 由られ事能くざる者共悉く敵れ為し害せらるる祖承訓は
 残り兵を引きつるは順安肅州と打通り夜中は安州の城
 外に至り馬を立て譯官通朴義倫を呼て云ひくるは我が
 軍兵今日多くれ敵と殺しゆとも不幸ありて遊撃史儒
 手を負て死たり其上天の時利あり大兩泥濘より敵と
 殲ひ事能くは猶軍兵を増て又進發さるる汝の宰相朝鮮
 宰小告て動く事なりは浮橋より撤く可くはと云ひ畢
 て馳て兩江大定江浮橋と渡り軍を控江亭に駐め忽蓋し
 祖承訓戦ひ敗れ膽を乞ふ敵の追討せし事と恐りて敵

二江と阻て防むと思ひ故に斯くハ急ぎ也柳成龍ハ從事幸慶音して往て慰けり且糧饌を送りぬ承訓ハ控江亭に留る事二日かゝる連日夜大雨を諸軍野陣より衣類兵具盡く濡れ皆承訓と怨るるゆゑ退て遼東へ還るる柳成龍ハ人心動揺せし事と怨む仍安州に留るる後軍の至ると待よるなり

加藤左馬助乗取番船之事

日本 和軍ハ兼て水陸に勢を分つて敵を攻むと評議し全羅より遠て西海道に出アと志し船手の入るハ九鬼大隅守嘉隆藤堂伏渡守高常勝坂中務少輔安治加藤左

馬助嘉明と始して此度武勇と顕く譽れと異國に殘さむや面ハ心掛け居られ藤堂高常心早き勇将なりむ手勢五百人を帥ぬ密に船を乗取出唐島初辭は巨濟島と云ふ浮く番船と目かくして漕つる番船共篠とけく如く矢継ぎや散る射る藤堂家の勇士共射れども打ども事どもせば一番は藤堂新七郎敵船に飛乗る續て藤堂作兵衛を始め我もく乗移る手は難し忽ち敵船數十艘乗取たり味方の兵船共あれを見て我舟と船と乗出逃る船追ひて百餘艘乗取唐島打上せれば夜半及び此勢ひは唐島を放火

おくろの首百餘級討取て其夜唐島陣と取て翌日諸將
 打寄て各軍評議有ける中加藤嘉明ハ用事と調ふる体
 して何れも舟座と立て若輩と招き向ふ見ゆる敵の番
 船と乗取るべし舟船用意とてい遣一在あるぬ
 休して坐る歸る居たるも争らる存居たる勇士共此
 密意と聞と等く小船三艘取乗して飛が如く漕出ハ
 目附兵諸將これと見るも是れよく加藤の幸也者後
 け懸てを制し留めよや怒罵する嘉明ハ知らぬ体
 して何れもは灰馬助の小姓共と見るも僻目某も知せ
 び卒尔乗出せし是ハ自身ものこそ押留めしハ留る

ありとて彼者共と呼返してさのむと云捨て兵船一艘
 子打乗押出ハ嘉明ハ思ふも諸將と出ぬも揉む
 揉むと急ぎしは漸く之艘船は追附きく加藤が一舟
 の勢最初の密意れ差圖して用意事なれば吾一小と
 追らるる漕出ハ二里計向ふ朝鮮の大船四十艘餘飾
 てきて備へたる其より又一里計向ふ大船數艘致重と
 もあく乗る浮めしは和軍小勢と以て軽く懸て
 やうハたつとけきとも諸將加藤は出枝したると口惜く
 思ひ我もく舟船小取乗し押出さるかゝる處に加藤が
 船を目懸け前列の四十艘計の番船押来り箕手たり

加藤が船四艘と追取り、巻て指詰引詰散、射れど嘉明
 られを見敵船の間五六間、過し鉄炮を揃一心と、さしめ
 打つや、くさ下知、つれ鉄炮をばくまき、打つるも敵
 船の士卒二十人計、矢庭小打倒、くるも驚き、駭く処
 一和軍水主、揖取汗水、なつて第一乃番船、押著け、本
 一鍵と打掛、引附け、佃次郎兵衛、土方長兵衛、塙團右衛
 門、秋作右衛門等、其外の勇士共、競ひ、うらうら敵船、飛乗
 るも、此勢ひ、畏れ、その一人も見え、さす、けれハ、何れ
 も不審、思ひ踏板と引上げ、見せ、ハ、皆船底、竄れ、入て半
 ろと引、が、矢先と揃、待居、り、土方長兵衛と始め

剛勇の輩、白刃と振て、一度、まご、川と飛入、り、元來怯弱な
 る朝鮮人、は、ごひたる、ろ、矢と捨手と、合せ、平伏、し、涙泣、する
 と、悉く、切て、捨て、助け、来、る、番船、一、押著、け、飛乗、る、切
 て、廻、る、る、最初、一艘、切取、られたる、本、船、も、畏れ、更、も、本、向
 る、者、なく、匍匐、ま、な、つ、く、刃と、請、け、或、ハ、海、へ、飛、込、り、空、船、も
 ち、る、た、る、と、十艘、計、乗、取、る、る、の、後、く、れ、が、せ、の、諸、將、の、船、共
 加藤、の、軍、士、先、き、り、け、り、幸、柄、を、顯、く、り、た、る、成、見、て、弥、怒
 る、會、釋、も、なく、向、ふ、る、胴、勢、の、船、を、乗、取、ら、ひ、と、揉、る、も
 も、ん、て、押、附、る、勢、ひ、は、怖、れ、敵、將、と、見、え、る、も、樓、船、一、番、は、北
 け、退、く、これ、小、續、いて、總、番、船、一、回、小、逃、け、走、る、味、軍、ら、れ、は

よ果に取られりし九鬼嘉隆藤堂高市士卒は向ひ斯く難
戦に成りて必死なれば引取らぬ物ぞ死ねよくと
下知せしれ爰とせんぞと砕き力戦あり中にも嘉隆
ハ船軍の功者として水主に向ひ敵船とば取むと働くべ
らば敵船の真中と乗割て彼所此所一通るべし射るとも
ゆるむとぞ敵の船は當らぬやうに引取らぬと下知
して幾度も乗廻りて諸船も稍くと引取らぬと朝鮮
の番船ハ材木とたし造りてゆゑ双方行當りてハ和
船ハ損ト碎けり朝鮮の判事共今も語り傳へけり嘉
隆の下知と敵の船はあり事あり有らぬや朝鮮勢も終日の戦ひ
士卒つれぬるゆゑの和軍退くと追まらぬ其日の軍ハ

止らざるも扱も服坂安治ハ今度の不覺一身の瑕瑾なり
と思ひ目附衆は達一切腹とくき旨望されり是を聞て
藤堂高市九鬼嘉隆目附衆は對面有て今度の船軍中書一
人の不覺は非は曲既の手勢は先と越され我一人とや
て本船と押出し中書の船一番は敵船の中一わめて入
りては以て敵船追取て巻て難儀は及びたる也我等の
船ハ後行するゆゑ左程は及ぶべし也然らば今度の中
書の瑕瑾と云く處ハ我も遁れざる處なり此旨空
く言上は預るべしと有らば目附衆も各の義氣と感
とられ軍の次第委細は名護屋に注進ししゆゑ上ハ其

左右を待て其上への思案然るべしと有るハ各理に
 服し命を待たる知ふ太閤よ下されたるを安治の働
 き實の勇士と謂つる我外國を征伐ハ加程に粉骨と碎
 く働きて幾度も無むバいづでの勝利を得むや汝等孫忠勤
 を勵むべしとして其忠戦と感ぜしむるは安治上意と承
 了奉事されし過づるは大に悦び勇まら高嘉隆
 も安心有る名いよく忠戦と盡されり

朝鮮 全羅道の水軍節度使李舜臣慶尙の右水使元均全羅

の右水使李億祺等と大に日本勢と巨濟の洋中を討破
 る初め敵軍既し陸に登るる元均敵の大勢たるを見

て敢て出撃し悉く其軍船百餘艘及び火炮軍器と海中に
 沈め擄奪下の裨將李英男李雲龍等四艘の船に乗る昆陽
 海口に至り陸に上りて敵を避んと欲し是に於て舟下の
 水軍萬餘人散るは成行らる李英男凍死す公ハ命と
 受け水軍節度となり今其軍を棄て陸に上る後日罪と按
 ずるに時何と以て自ら解しや如く兵と全羅道に
 請ひ敵と一戦し勝利たむと然後逃らる事未晩の
 るに云々云々均を然として李英男として李舜臣
 の許へ出て援いと請りて李舜臣許し各々思有
 るハ國王の命令に非ざりて豈擅に自ら境を越ゆべしや

と云ふ元均又李英男とて往て清く凡注返らるる
 五六度及いぬ李英男の度毎元均船頭を坐して
 望し見て痛哭し既して李舜臣板屋船四十艘と率ぬ
 水使李億祺と約し巨濟に到り元均と兵と合せ進む
 敵船と見方案と云處に遇たり李舜臣云此地海狭く水
 浅けしハ掛引に不自由なり如し伴に退き敵を誘ひ出
 し海の潤き處に相戦ふは元均ハ憤り乗直
 前むで搏ち戦ふと云ふ李舜臣云公ハ兵と知らば
 うくれ如く心を必敗れんとて遂に旗を以て船を揮き
 て退き去るに敵兵大に喜び争ひてこれに乗追ふ既

隘口に出づ李舜臣鞭と打鳴しければ諸船一同に齊く掉
 を回し海中に擺き列りて敵船と對頭し相拒る其數十
 歩なり是より先き李舜臣創りて龜船と造る板を以て上と
 張る其形穹窿をて龜の如く軍士水夫も皆其内に在り左
 右前後に火炮と多く載せ後横出入自由なる支校の如く
 敵船に遇て連りて大砲を以て打碎き諸船一時に攻立け
 せしハ火焰天に漲り敵船を焚く事數と知らし敵將樓船の
 高き處に櫓を施し紅段彩繩を以て其外を飾りて是
 も亦大砲の爲に打破られ敵軍悉く水に赴き死にたり其
 後敵軍連りて戦ひ破れ去るに遂に金山巨濟に逃入りて